



# 環境かわら版

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo-c/0000007029.html>

令和2年5月号 (第288号)



最近の夏って暑くない？  
これって温暖化？

自分たちで、  
何かできること  
はないのかな？

地球温暖化対策について  
**知ろう、学ぼう!** 楽しく学ぼう  
**温暖化まなびネット**

～あいち地球温暖化対策人材登録・紹介ネット～

実験・クイズ・ゲーム  
楽しみながら学ぶ  
ことができます!

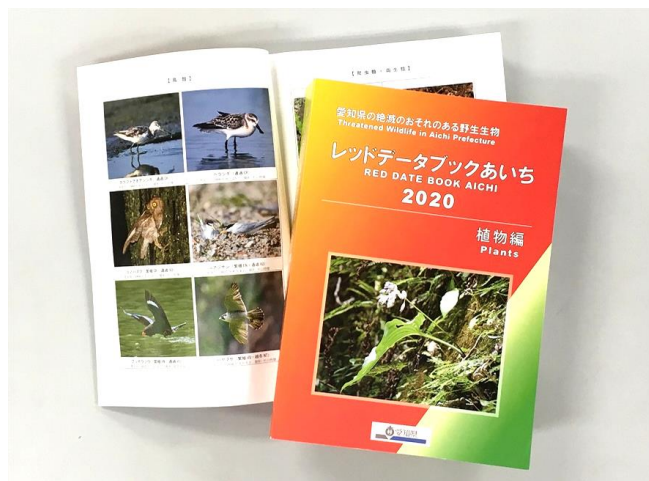
**つながる・学ぶ**  
**講師紹介**

▶あなたの希望する講師が、学校や職場、公民館などの希望する施設へ参加し、地球温暖化やその対策についてお話しします。  
▶対象とする年齢層や、できる講座の内容、費用など講師となる登録者の情報を公開しています。  
▶お子様から大人まで、少人数から大人数まで、希望に合わせて選んでいただけます。

**活躍する**  
**講師募集**

▶まだ、講師として登録する方が募集しています。あなたも講師に登録したあなたの活躍の場を上げてみませんか?





第四次レッドリスト「レッドリストあいち 2020」及び「レッドデータブックあいち 2020」を作成しました (P4)

地球温暖化に関する環境学習の講師を紹介する「温暖化まなびネット」をご活用ください (P4)



エコアクションを  
はじめよう！つづけよう！つなげよう！

<http://aichi-eco.com>



# 公害対策でお悩みの皆さんへ ～金利負担の一部を利子補給します！～



愛知県では、中小企業の皆さんに愛知県経済環境適応資金(パワーアップ資金)の融資を行っており、公害を防除するために必要な施設の設置や、公害を防止するための工場移転も対象となります。

さらに、公害防除施設や工場移転の融資では、「利子補給」制度があります。利子補給とは、支払利子額の一部を愛知県が補助することで、ご返済にかかる負担を軽減するものです。

融資についてのお尋ねやご相談を随時受け付けておりますので、環境対策への設備投資を是非ご検討ください。

詳細はWebページをご覧ください。



「愛知県 公害対策」で検索！



(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo/0000069974.html>)

## ○利子補給の適用となる融資の対象

公害防除施設	公害防除に必要な施設の設置や改善等を講ずるための経費 例:集じん施設、汚水処理施設、防音施設
工場移転	現在地での公害防止が困難なため移転し、移転先で必要な措置を講ずるための経費 例:移転費、用地取得費、公害防除設備費

## ○融資の条件

融資限度額	1億5,000万円
融資期間/利率	1年超 5年以内 年1.1%以内 5年超 7年以内 年1.2%以内 7年超 10年以内 年1.3%以内
利子補給率	支払利子額の60% (公害防除施設5,000万円、工場移転7,000万円の上限額有り)
返済方法	据置1年以内 原則元金均等分割返済

〔環境政策課 法規・融資・補償グループ  
電話 052-954-6209 (ダイヤルイン)〕



# パンフレット「干潟・浅場・藻場のはたらき ～三河湾の環境再生に向けて～」を作成しました



三河湾は古くから今に至るまで、豊かな海の恵みをもたらしてくれる里海ですが、陸域から流入する汚濁負荷が増大したこと、また埋立等により沿岸域にある干潟・浅場・藻場の多くが失われたことから水質等の環境が悪化しました。近年、陸域から流入する汚濁負荷は減少してきたものの、環境基準は依然として達成維持されていない状況です。

愛知県では、こうした状況を背景に、三河湾の環境再生に向けた取組を進めるため、「三河湾環境再生プロジェクト」として、三河湾大感謝祭や三河湾環境再生体験会などの様々な事業を進めています。



三河湾大感謝祭の様子

この度、このプロジェクトの一環として、三河湾の環境再生に重要な干潟・浅場・藻場のはたらきを県民の皆さんに知っていただくためのパンフレットを作成しました。

概要版と詳細版の2種類があり、どちらもWebページでご覧いただけます。また、概要版については、各県民事務所や三河湾大感謝祭をはじめとしたイベントでも配布します。



パンフレット

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/mikawawan-pamphlet.html>)



〔水大気環境課 生活環境地盤対策室  
三河湾環境再生グループ  
電話 052-954-6220 (ダイヤルイン)〕

## 愛知県内の家庭系食品ロスの発生実態を調査しました



まだ食べられるのに捨てられてしまう食品、いわゆる「食品ロス」は、国内で年間600万トン以上の発生があり、私たち一人ひとりが削減に取り組むべき重要な課題です。愛知県では、家庭で発生する食品ロスの実態を把握し、より効果的な削減対策を進めるため、2019年度に県内6市において家庭系食品ロス量を調査しました。

### 1 調査概要

- (1) 調査市：豊橋市、岡崎市、一宮市、半田市、春日井市及び豊田市
- (2) 手順：夏季（8～9月）及び冬季（11～12月）の2回にわたり家庭から排出される可燃ごみ（生活系可燃ごみ）を採取し、食品ロス等を選別して計量

### 2 調査結果

生活系可燃ごみに対する食品ロス（直接廃棄、過剰除去、食べ残し）の割合は図のとおりです。

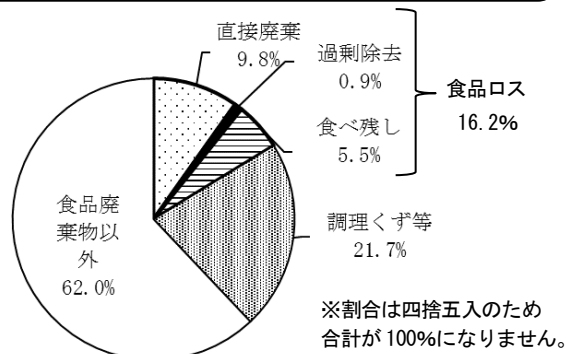


図 調査市の平均  
（生活系可燃ごみに対する食品ロス等の割合）

調査の結果、食品ロスは可燃ごみの16%余りを占めており、中でも手つかずのまま直接廃棄された食品が約10%で最も多いことが確認されました。

本調査結果の詳細はWebページをご覧ください。  
(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/junkan/foodloss-r2.html>)



〔資源循環推進課 一般廃棄物グループ  
電話 052-954-6234（ダイヤルイン）〕

## あいち・なごや生物多様性2020連携事業を展開中です



2020年はCOP10で採択された生物多様性の世界目標「愛知目標」の目標年です。愛知県と名古屋市は、2020年に県内でNPO・企業・大学・行政等が実施する生物多様性に係る事業・イベントを、統一ロゴマークの下、「あいち・なごや生物多様性2020連携事業」として展開しています。

この事業を通じて、「つながる ひろがる 生物多様性の輪」をキャッチフレーズに生物多様性保全の気運の盛り上げを図っていきます。



あいち・なごや生物多様性2020ロゴマーク

対象となる事業、連携内容、募集期間、申請方法など、詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/shizen/expo2020-partner.html>)



### 国際生物多様性の日

毎年5月22日は、国連が定めた「国際生物多様性の日」です。失われつつある生物多様性やその持続可能な利用について考えていきましょう。

### 生物多様性とは・・・

地球上には様々な環境があり、それぞれに応じた多様な生きものが互いにつながり、支え合って生きています。生物多様性とはそうした生きものたちの豊かな個性とつながりのことです。

〔自然環境課 生物多様性保全グループ  
電話 052-954-6475（ダイヤルイン）〕



## 第四次レッドリスト「レッドリストあいち2020」及び「レッドデータブックあいち2020」を作成しました



愛知県では、絶滅のおそれのある野生動植物の現状を的確に把握し、生物多様性の保全を推進するため、第四次レッドリストである「レッドリストあいち2020」及びそのリスト掲載種について解説した「レッドデータブックあいち2020」を作成しました。

### 1 レッドリスト等の改定のポイント

絶滅のおそれのある種（絶滅危惧Ⅰ類及びⅡ類）の数は、前回の「レッドリストあいち2015」と比較し、45種（植物18種、動物27種）増加し、893種（植物529種、動物364種）となりました。主な増加要因は、人間による開発やシカの被害などによる生息生育環境の悪化、調査の進展により新たに発見された種の追加などです。

### 2 入手又は閲覧の方法

レッドリストの概要、全リスト及びレッドデータブック全編などをWebページに掲載しています。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/shizen/r1-rdb2020.html>)



また、「レッドデータブックあいち2020」（図書）は、以下のとおり販売するほか、県内の図書館で閲覧できます。

販売場所：県民文化局県民生活課情報コーナー  
〒460-0001

名古屋市中区三の丸2-3-2 自治センター2階  
電話 052-954-6164

価格：（2分冊）植物編 1,300円（税込）  
動物編 1,250円（税込）

環境調査センター 企画情報部  
電話 052-908-5112（ダイヤルイン）  
自然環境課 野生生物・鳥獣グループ  
電話 052-954-6230（ダイヤルイン）

## 地球温暖化に関する環境学習の講師を紹介する「温暖化まなびネット」をご活用ください



愛知県では、県民の皆さんの自発的な地球温暖化対策活動を支援するため、「温暖化まなびネット」を開設しています。

「温暖化まなびネット」では、地球温暖化について深く理解し、講演会の講師や環境学習の指導者等として登録いただいた個人や団体を紹介しています。学校や職場、町内会などの身近な場での環境学習講座や講演を行う際には是非ご活用ください。

### 1 「温暖化まなびネット」の利用方法

県地球温暖化対策課のWebページから、登録された講師の方への環境学習講座や講演等を依頼することができます。



登録講師による授業風景

### 依頼手順

- (STEP1) Webページの講師登録リストから希望する講師を選定
- (STEP2) 希望する日時、場所、人数等を所定の様式に記入し県へメールなどで送付
- (STEP3) 講師と実施内容の打合せ
- (STEP4) 講座や環境学習講座の実施

### 2 講師登録リスト

現在、33の個人及び団体に講師や指導者として登録いただいています。新たに講師などとして登録いただける方も募集していますので、熱意・経験のある方の登録をお待ちしています。

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/ondanka/onmananet.html>)



地球温暖化対策課 調整・企画グループ  
電話 052-954-6213（ダイヤルイン）

## 1 今後の天候の見通し

今年の冬は記録的な暖冬でしたが、4月は平年と比べて気温が低い日が多くありました。名古屋地方気象台では、5月は数日周期で天気が変わり、平年と同様に晴れの日が多いと予測しています。

## 2 愛知県における5月の気象の特徴

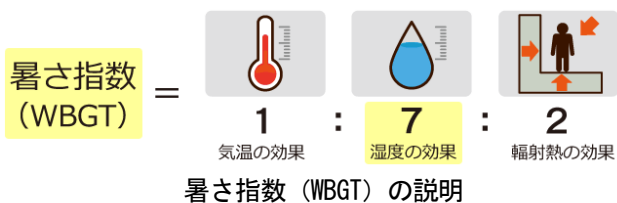
例年、5月は日射量、日照時間がともに多い月で、過去を見ても、快晴、晴れであった日が約半数を占めています。昨年は梅雨入り前の5月下旬に熱中症患者が増えています。

## 3 高齢者の熱中症対策（適応策）

熱中症のかかりやすさの指標として、人体と外気との熱のやりとりに着目したWBGT（暑さ指数）があります。WBGTが28℃を超えると熱中症患者が増加すると言われています。WBGTは環境省のWebページで随時公開されていますので是非ご覧ください。



(<https://www.wbgt.env.go.jp/>)



また、近年、熱中症で救急搬送された人の約半数は65歳以上の高齢者が占めています。

その原因として、人間は、暑さを感知すると、発汗量や皮膚血流量等を増加させて身体の熱を外に逃がす体温調節を行っています。高齢になると暑さを感知しにくくなることや体温調節機能が低下することなどが挙げられます。これらの機能の低下は日常的に汗をかくことで遅らせることができることから、日頃から適度な運動を心がけることをおすすめします。

そして、意外に感じるかもしれませんが、熱中症の発生場所は住居内が最も多くなっています。体感だけに頼るのではなく、部屋に温湿度計を置くなど、自分のいる環境を把握できるようにして、季節に関

係なく、暑い時は適切に冷房を使用するなど、熱中症を起こさない環境づくりにも心がけましょう。

## 4 当センターの昨年度の活動報告

昨年度、環境省からの委託を受け、「気候変動情報収集・分析業務」を実施しました。具体的には、アンケートやヒアリング等により、県民や事業者の皆さんから気候変動に関する情報収集を行い、専門家へのヒアリングや文献調査等により整理・分析しました。その結果、県特有の気候変動の影響として、次の4点が明らかになりました。

- ① 平野部における洪水のリスクが大きいこと
- ② 気候変動とヒートアイランド現象の影響が相まって熱中症のリスクが高くなること
- ③ 気温、海水温の上昇により、農業・漁業が大きな影響を受けること
- ④ 顧客ニーズの変容により、サービス業が大きな影響を受けること

①と②については、更に情報収集や分析を進めていく予定です。詳細については、このかわら版やWebページ等で随時紹介していきます。

また、県民の皆さんに気候変動適応に対する理解や知識を深めていただくため、啓発チラシを作成しました。Webページで公開していますので、是非ご利用ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo-c/tekiou.html>)



啓発用チラシ（左：小学生用 右：一般用）

愛知県気候変動適応センター  
(環境調査センター 企画情報部)  
電話 052-910-5489 (ダイヤルイン)

# 家庭でできる環境学習 Web ページ

## 「あいち環境学習プラザ 自宅講座～家庭でやってみよう～」を開始します



愛知県の環境学習施設「あいち環境学習プラザ」では、家庭で楽しく学べる環境学習Webページ「あいち環境学習プラザ 自宅講座～家庭でやってみよう～」を作成しました。

このWebページでは、クイズやゲーム形式の学習シートを使って、自然や水などの身近な環境について、家族で楽しく学べる講座を掲載しています。

また、正解を送ってくれた小中学生に、抽選で図書カードをプレゼントする「SDGsクロスワードパズル」の講座もご用意しました。

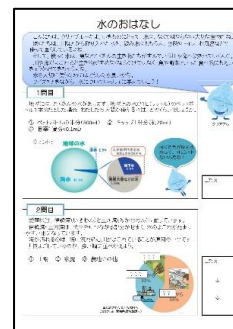
講座は、今後随時更新し、様々な環境分野について学んでいただく予定です。

是非、家族で楽しく環境を学ぶツールとして役立ててください。

### 1 講座一覧

講座タイトル	内容	推奨学年
これは何かな？ 【自然】	植物や動物の一部分を拡大した写真やイラストを見て、それが何かを当てながら、生態について学ぶことができます。 また、自分で問題を作ることができるワークシートもありますので、家族みんなで楽しむことができます。	小学 1年生 ～
水のおはなし 【水】	普段何気なく使っている水について、クイズを解きながら、水がどうしてよごれるのか、水をきれいにする方法など、水の大切さについて学ぶことができます。	小学 3年生 ～
SDGsクロスワードパズル (プレゼント対象講座)	クロスワードパズルを解きながら、SDGsについて学ぶことができます。	小学 4年生 ～

※SDGsとは、持続可能な世界を実現するために、2030年までに達成すべき17の目標のこと。



学習シートイメージ

### 2 プレゼントについて

- (1) 対象講座 「SDGsクロスワードパズル」
- (2) プレゼントの内容等  
図書カード500円分 30名様
- (3) 応募対象者 県内在住の小中学生・中学生
- (4) 応募方法等

郵送、FAX、Eメールのいずれかにより、ご応募ください。

- (5) 応募締切 6月1日(月) 必着

詳細はWebページをご覧ください。



(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo-c/jitakukoza.html>)

あいち環境学習プラザのウェブページにリンクが貼られています。

(<http://kankyo.joho.pref.aichi.jp/plaza/>)

環境調査センター 企画情報部  
あいち環境学習プラザ  
電話 052-908-5150 (ダイヤルイン)



<p>愛知県環境情報紙「環境かわら版」 令和2年5月7日発行(第288号) 編集・発行 愛知県環境調査センター 企画情報部 〒462-0032 名古屋市北区辻町字流7-6 電話 052-908-5112(ダイヤルイン)</p>	<p>編集後記 令和2年度がスタートしました。しかし、新型コロナウイルスの感染防止対策のため、2020東京五輪が1年延期になるなど日本はもとより世界中で「三つの密」を回避する行動が求められ、様々な行事やイベントの実施についても変更が生じています。 本号の発行日にどんな状況になっているのか、想定できませんが、ウイルスに感染しないように自らの行動を見直していきたいです。(企画・編集チーム)</p>
---	--

※ この環境かわら版は、環境局Webページ「あいちの環境」<https://www.pref.aichi.jp/kankyo/>でも発信しており、写真等をカラーでご覧いただけます。この記事は広報紙等へ再掲していただきますようお願いいたします。